

## がん末期の栄養について

ご本人の嗜好・ご希望に添った食品（料理）  
食環境（食の記憶に留まる思い出等）を伺い  
個別の栄養管理をしています

## チーム介入

かかりつけ医、歯科医師等へ相談することへ  
（聴き取りの食品摂取が困難な場合等）



- 症状に合わせた食べやすい食品

温度、におい等に配慮

- 冷たい麺類・お粥、卵豆腐、果物等

- 口当たりのよい食品



下痢していなければアイスクリーム、ゼリー等

- 少量でのエネルギー補給（栄養補助食品等）

- 食べられるタイミングを増やす

ご本人の嗜好を確認し、果物、豆腐、冷たい麺類、栄養補助食品等を上手く利用し少量でもエネルギー確保することをお勧めすることがあります。